



UDO
HOSPITALS

オリーブの樹

2019 秋号

医療法人有働会 有働病院 広報誌



vol.1
TAKE FREE

院長挨拶
アルコール依存症の治療
認知症治療病棟
デイ・ナイト・ケア を始めました!



昨今、政府が掲げる「一億総活躍社会」の実現に向けた「働き方改革」が進められる中、労働環境や生活スタイルが見直され、ストレスフリーな社会へと変わってきていると感じています。しかしながら、社会環境の変化や人間関係の複雑化などによる悩みやストレスの増大、高齢化に伴う認知症の増加等、精神科医療に求められる役割は、年々増していったるのように思います。

そのような中、2016年12月に有働病院をリニューアルオープンし、早や3年が過ぎようとしております。ようやく病院運営も軌道に乗り、これからの当院をより皆様に知っていただきたいと、この度第1回目の広報誌を発刊する運びとなりました。これもひとえに、当院を支えていただいた家族会・関係各所の皆様のおかげだと感謝申し上げます。

今回の広報誌の内容には、新しい当院の取組みが書かれています。新しい病院を建設した際、認知症治療病棟を併設致しました。また昨年10月には、アルコール依存症の専門治療を開始致しました。さらに3月にデイ・ケアに加え、デイ・ナイト・ケアも始めております。これらの取組みは当院にとって新たな挑戦であり、これまで以上に地域の精神科医療に貢献できるものだと信じております。

最後に、当院は今年新しい病院理念を打ち出しております。新しい病院理念のもと、職員一同、一丸となって邁進してまいりますので、より一層のご支援、ご厚情を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

院長 江上 昌三

アルコール依存症の治療

「アルコールを止めることが目的ではない。アルコールとどうやって向き合っていくかが大切だ。」

アルコール依存症の患者様を受け入れ始めて、1年が過ぎようとしております。アルコール依存症の専門治療は、クリニカルパスという3か月間の治療プログラムに沿って、医師・看護師・作業療法士等、さまざまな職種が一丸となって行われていきます。治療の一環として、アルコール以外にも興味を持ってもらおうと、苔玉づくりなど趣味を作る活動も行っています。退院後もデイ・ケアや訪問指導を利用して、治療を継続していきます。

そんな中、気づいたことは、「アルコールは、簡単

ミーティングの様子



苔玉づくり

に止めれない。」ということです。アルコールを止めるとなると強い決心が必要で、周りのフォローも重要になってきますし、極度のストレスがかかってしまいます。その反動で、再入院ということにもなりかねません。だからこそ、アルコールを止めるのではなく、患者様本人が、アルコール依存症を理解し、酒害を反省し、上手にお酒と付き合っていく方法を学んでいくことが大切だと思っております。

アルコールで悩んでいる方やそのご家族の方がおりましたら、是非、一度ご相談ください。毎月、「家族教室」といった勉強会なども開催していますので、皆様のご参加をお待ちしております。

認知症治療病棟



機能訓練の様子

新しく病院が建てかわる際、認知症の患者様に対応できるよう、認知症治療病棟を併設致しました。精神症状及び行動異常が著しい重度の認知症患者様を対象としています。在宅・施設復帰を目標に掲げ、病棟常駐の作業療法士が、日々機能訓練や回想療法・音楽療法等を実施しています。さらに、3か月の治療プログラム(クリニカルパス)に沿って、医師・看護師だけでなく、さまざまな職種が治療に関わることで、患者様へのより良いケアができるよう努めています。最後に、今年から作業療法士を1名増員しております。これまで以上に、患者様へのサポート・リハビリの充実、在宅・施設復帰の促進につなげていけるよう取り組んでいきます。



ミーティングの様子

デイ・ナイト・ケア を始めました!



有働病院2階で、デイ・ケアを行っています。利用者様は20～80代まで幅広く、1日平均して40名程度の方が利用されています。室内ビーチバレー、お菓子クラブ、室内ゲーム(カラオケ、麻雀、カードゲーム)が人気です。キッチン、視聴覚ルームやお風呂等、設備がとても充実しています。社会体験としての外食やおまつりの見学など、外出するプログラムが多いのも特徴です。その他、利用者様からの要望に応じたプログラムを立案しながら取り組んでいます。「遅い時間帯まで利用したい」という要望もあり、デイ・ナイト・ケアも始めています。是非、自分好みのデイ・ケアを体験しに来てください。



陶芸



デイケア室

[1週間のプログラム例]

	月	火	水	木	金
午前	手芸・陶芸・書道 お菓子クラブ	園芸・図書館 室内ゲーム	買物支援 室内ゲーム	料理クラブ 映画鑑賞	買物支援 室内ゲーム
午後	手芸・陶芸・書道 お菓子クラブ	ピクニック ナイト:カルタ	グループ ミーティング	勉強会 室内ゲーム	スポーツ

【ショートケア】 月～金曜日 / ①9:15～12:15 ②12:15～15:15

【デイケア】 月～金曜日 / 9:15～15:15 【デイナイトケア】 火曜日のみ / 9:15～19:15

編集後記

まだまだ猛暑日が続き、「令和」に変わったのがもう随分昔に感じる昭和生まれの私です。今回第1号の広報誌を発行することができました。タイトルは「オリーブの樹」。花ことばに“平和”“安らぎ”という意味があり、みずみずしい葉は、その美しさから“幸せ”をもたらすとされています。この広報誌から皆様に“ほっこりとした幸せ”をお届けしたいとの願いを込めています。今後も年2回の発行を目指して4名の広報委員で頑張っていくつもりです。

(広報委員長 国崎孝晴)

外来診療のご案内

診療科目 精神科、心療内科

受付時間 午前 9:00～11:45
午後 13:30～16:00
※土曜日午後、日祝日は休診



予約制ではありません

当院は予約制ではないため、悩んだとき、困ったときに、いつでも受診ができます。そのため、待ち時間が長くなることもございます。

初めて受診される方へ

午前診療は11:00まで、午後診療は15:00までに来院をお願いします。また、事前にご連絡を頂けると、待ち時間が少なくなるように受診日時の調整を致します。

その他、詳しい内容はホームページをご覧ください。

窓口のご案内 面会や入院費等の支払いは、365日対応致します。

面会時間 9:00～18:00

精算業務 9:00～17:00

※患者様の病状等により、面会できない場合がございますので事前にご確認ください。

※面会時は、必ず受付にて面会申請書に記入をお願いいたします。

病院理念

信頼される医療を「知、心、和」をもって提供いたします。

- ・知とは 患者様の権利、自己研鑽、コンプライアンス、ニーズの把握などの知性。
- ・心とは 真心、忠誠心、思いやり、情などの精神。
- ・和とは 調和、温和、平和、共生などのパートナーシップ。

基本方針

1.患者様中心の医療体制

患者様の権利を尊重し、患者様とその関係者に、安全・安心な医療を提供します。

2.地域医療の推進

地域のニーズに応え、他の医療、福祉機関と連携し、社会復帰、在宅支援を推進します。

3.地域社会への貢献

精神医療について、理解を深めてもらい、CSRを通じて地域社会に貢献します。

4.職員の育成

医療の知識と技術を高めるための環境を整え、地域に必要とされる医療人を育成します。

医療法人有働会 有働病院

〒864-0002 熊本県荒尾市万田475-1

TEL 0968-62-1138 FAX 0968-64-3410

<https://www.udo-hp.or.jp/>

有働病院

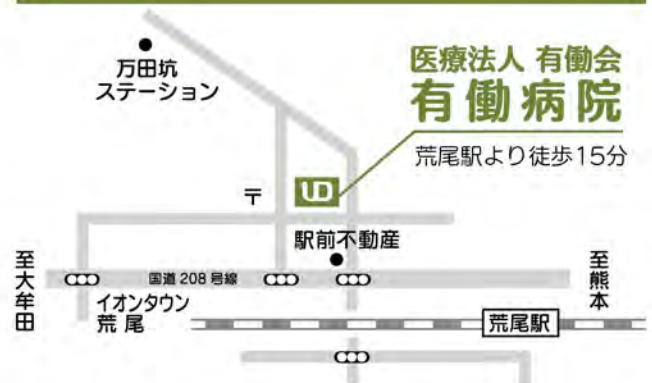
検索



関連施設

グループホーム「フレンズUD」(障害者総合支援法:共同生活援助)
相談支援センター「のぞみ」、菊池有働病院

MAP



敷地内禁煙を始めました

4月1日から病院敷地内を全面禁煙としました。病院内に喫煙所はございません。受動喫煙防止にご協力ください。